

インフラ整備70年 講演会(第30回) ～戦後の代表的な100プロジェクト～

大阪駅改良と大梅田のまちづくり

～ 逆境を力に変えた民の知恵！ 公民連携による改良と進化の歴史～

■ 講演プログラム

1. 大阪駅改良の歴史と新しい大阪駅の創造
2. 大阪駅周辺で進行中の鉄道関連プロジェクト
3. 「大梅田エリア」のまちづくり
4. 比類なきみどりを採り入れた「うめきた」の開発



初代大阪駅（明治7年）

<講演者>

梅原 利之 元 西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部長
坂田 英洋 元 西日本旅客鉄道(株) 創造本部 副本部長
畑中 克也 西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長
岩本 康男 元 大阪市 計画調整局長
篠崎由紀子 元 (一社)関西経済同友会 常任幹事
うめきた・みどり推進委員会 委員長
星野 鐘雄 元 西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長

写真提供：JR西日本

2022年 5月25日 (水) 講演会：15:00～17:00 (入室開始予定：14:40～)

場所：ZOOMウェビナーによるWEB配信

定員：1,000名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。
申込先：<https://www.icca.or.jp/infra70/20220525/>

今から約150年前、市街地から外れた田園地帯の梅田に大阪駅が誕生して以来、大阪駅周辺には多くの路線が乗り入れ徐々に拡大し、昭和初期には旅客専用のターミナル駅となり、北側には梅田貨物駅が誕生し貨物専用のターミナル駅として機能していた。戦後、東京を中心とする首都圏では鉄道整備が集中的に進む一方で、関西の鉄道やまちづくりへの投資は限られていた。

そのような逆境のなか大阪駅周辺では様々な主体が新たな都市計画手法や民間主導の開発等により近代都市へ脱皮を図り今日の大梅田エリアの基盤が作られた。同時に大阪駅も時代に応じた改良が重ねられ、駅がまちをつくり、まちが駅を育んできた。

現在大阪駅北地区では、旧貨物ターミナルの跡地を有効活用した開発が公民一体で進められており、「大梅田のまちづくり」の中核エリアに生まれ変わろうとしている。このまちづくりに先駆けて、大阪駅は2011年に大ドームを持つグランドステーションに生まれ変わり、地域に新たな賑わいと魅力を加えた。さらに現在、「比類なきみどり」を採り入れたうめきた2期の開発が行われており、これと呼応して新たな鉄道関連プロジェクトも進行している。

このように逆境をバネに公民の連携により発展してきた「大阪駅の改良」と「大梅田のまちづくり」の進化の歴史について報告する。

主催：(一社)建設コンサルタンツ協会

後援：(公社)土木学会

インフラ整備70年講演会(第30回)

大阪駅改良と大梅田のまちづくり

～ 逆境を力に変えた民の知恵！ 公民連携による改良と進化の歴史～

《講演者略歴》

梅原 利之	元 西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部長 (四国旅客鉄道株式会社 会長を歴任)
坂田 英洋	元 西日本旅客鉄道(株) 創造本部 副本部長
畑中 克也	西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長
岩本 康男	元 大阪市 計画調整局長
篠崎由紀子	元 (一社)関西経済同友会 常任幹事 うめきた・みどり推進委員会 委員長 元 (株)都市生活研究所 代表取締役
星野 鐘雄	元 西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長

講演会 申し込み方法

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより「インフラ整備70年」バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/infra70/20220525/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- ZOOM入室URL (事前登録用) は講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等のご遠慮頂きますようお願いします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

< 次回講演会予定 >

第31回講演会 2022年6月23日(木) 15:00～17:00

「東京湾アクアライン ～民間技術力を結集し、未経験の技術へ挑戦～」

講演者：高橋 道生	日本道路公団 建設第一部 東京湾横断道路室長
舟崎 恒義	東京湾横断道路(株) 工務部長
金井 誠	(株)大林組 木更津南工事事務所長
金岡 稔	鹿島建設(株) 東京湾横断道路出張所長
高橋 知道	現職：NEXCO東日本 取締役兼管理事業本部長
内田恵之介	東京湾横断道路(株) 代表取締役専務
遠藤 元一	現職：東京湾横断道路(株) 代表取締役社長

場 所：ZOOMウェビナーによるライブ配信